

市議会議員 あいざき佐和子の活動ニュース

ITAMI大好き！

vol. 22

2012年・6月号

「ITAMI大好き！」 月1回ペースで発行！！

市議会議員あいざき佐和子の活動ニュース「ITAMI大好き！」が、月1回ペースの発行となりました！

これまで、年4回（議会ごと）に発行していた「ITAMI大好き！」。

毎号を市内に全戸配布し（伊丹市の議員ニュースでは初めて！）、累計140万部を突破しました。お陰様でご好評いただいております、感謝の限りです。

ただ、大きな課題もありました。年4回の発行では、お伝えしたい情報を掲載しきれなかったのです。実は情報発信の方法として、ブログ（インターネットの日記。全国地方議員ブログのアクセスランキングで最高8位）も実施していますが、こちらはほぼ毎日更新しています。そう、毎日でもお届けしたい情報があるのです。議会の報告・実現の告知・市政の課題・相崎の考え・・・年4回では書ききれません！

そこで「ITAMI大好き！」の発行ペースを増加し、より多くの情報をお届けさせていただくことにしました。今後ドンドン作成すべく張り切っています。議員6年目、勢いは止まりませんがますます加速して走り続けます。今後ともよろしくお願ひいたします！



とうとう売却！「ネオ伊丹ビル」！

●「ネオ伊丹ビル」とは？

「ネオ伊丹ビル」ご存知でしょうか？伊丹郵便局の向かいにある7階建てのビル。実はこのビル、オーナーは伊丹市だったのです。

●ビジネスに失敗した伊丹市

遡ること1989年（バブル絶頂期）、流行っていた自治体ビジネスに乗り、伊丹市は「ネオ伊丹ビル」を建設してビルオーナーになりました。実質的な運営は専門家である信託銀行に託し、テナント賃料等を市の収入としたのです。

しかしバブルは崩壊。空きテナントが増加して経営が悪化しました。賃料の値下げ、テナント募集など一定の努力はしたものの経営は改善されず、とうとう一般会計（市の財布）からの補填が不可避に。そこで伊丹市は信託銀行との契約期間30年の満期を待たずに、ビルを売却する方向性を打ち出しました。



ネオ伊丹ビル

●議会は大紛糾！

売却には議会の議決が必要。そこで3月議会で「市有地の信託の変更」なる議案が提出されたところ、議員から「信託事業は万全だったのか」「入居希望のテナントもあるはず」など、**厳しい質問が噴出**。私は「これまでの信託事業に反省点はあれど、市民負担での補填は許されまじ。当地は役所もあつた市の由緒ある土地ゆえ苦渋の決断なれど売却致し方なし」と判断し、議案に賛成しました。結果、賛成22反対5で可決。ネオ伊丹ビルは売却となりました。今後、早くも6月入札開始、8月契約の予定です。

●適切な民間感覚と、思い切った決断を！

これから市政運営は、過去の「ハード建設最優先」「バブル期の過度な事業」の清算が大きな課題です。今回のネオ伊丹ビル売却はじめ、土地開発公社の解散など決定済みですが、バブルの清算について行政が立ち遅れているのは明白。今後も、公共施設の再検討など課題は山積です。**適切な民間感覚も駆使しながら、思い切った決断**をすることが不可避です。行政が曖昧な引き延ばしをするなら、厳しい追及が必要。皆さんのご意見を伺いながら**徹底的に議論**していきます。